

H30「富士山に関するアンケート調査」

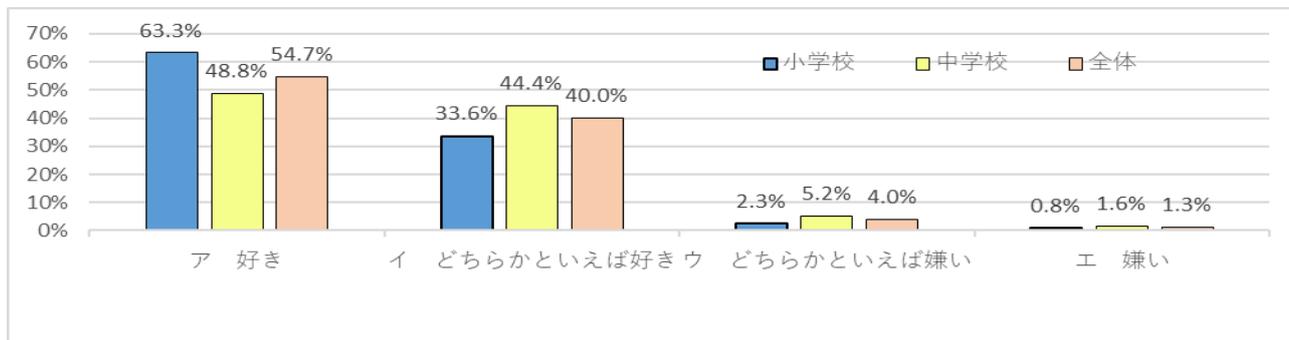


<大石小学校校庭から望む富士山>

- 1 実施主体 富士河口湖町立教育センター
- 2 実施目的 富士山に関するご意見，お考えなどをお聞きし，これからの富士山学習の基礎資料とする。
- 3 実施対象 富士河口湖町内全小学校並びに鳴沢小学校の5年生・中学生
(湖南中は1年生)の皆さん
(回答数)

小学校5年生	256名
中学生	367名
- 4 実施時期 2018(H30)年 6, 7月

問1 富士山のことをどう思っていますか。



<調査結果>

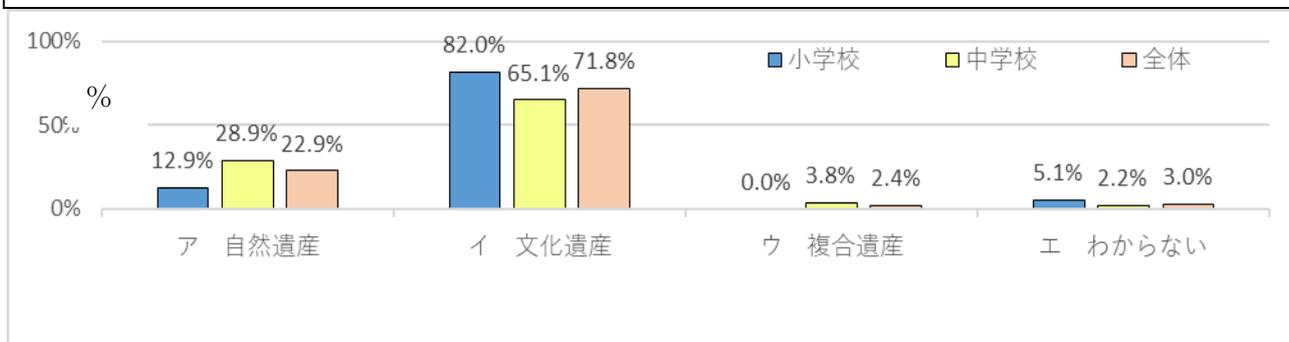
- 富士山のことをどう思っているかについては、「好き」「どちらかといえば好き」を合わせると小学生においては97%、中学生においては93%で、ほとんどの児童生徒が富士山を「おおむね好き」と考えている。しかし、中学生は、「好き」と「どちらかといえば好き」がほとんど変わらず、嫌いと考える割合も小学生に比べ多い。

☆ 今回の調査では、なぜ「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と答えたかについては質問していないのでその理由は不明であるが、富士山学習の授業の中で「噴火するから怖い」と答えた小学生がいた。また、外国人観光客の増加に伴う習慣の違いや交通渋滞など、学年が進むにつれ、富士山や富士山観光の様々な情報が入ってくることで、好きと言いきれない感情が出てくることにより、小中学生の結果の違いが出たことも考えられる。

富士山の噴火については、今後も防災学習などで噴火について正しい情報を提供するとともに、その対処について学習していく必要があるのではないかと考えられる。

「好き」と考えることの調査も必要であるが、それと共に「嫌い」と考える理由について分析していくことにより、富士山学習がより充実したものになっていくと思われる。

問2 富士山はどの世界遺産に登録されたのですか。1つだけ選んで○でかこんでください。



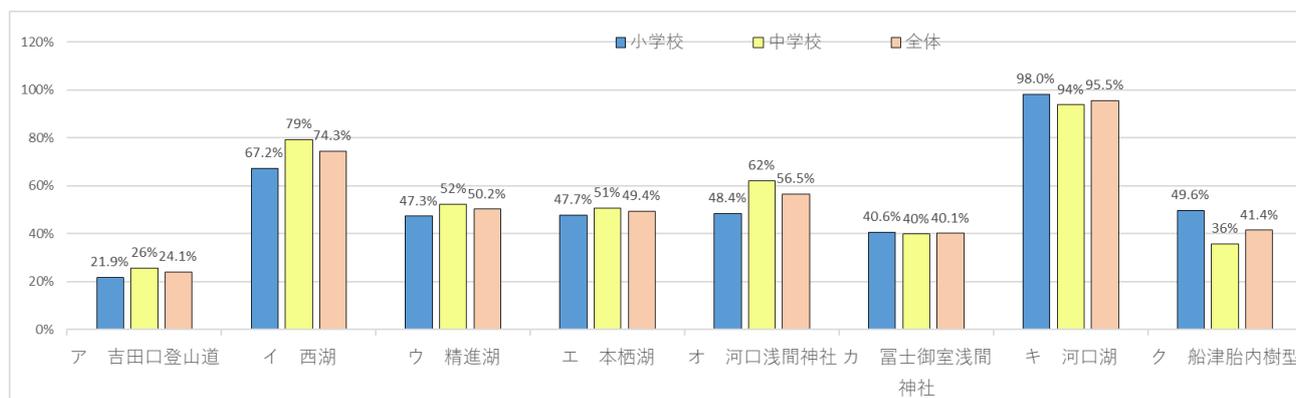
<調査結果> (※ 前…前回平成25年の調査結果)

- 富士山はどの世界遺産に登録されたかについては、小学生は「文化遺産」が82% (前95.3%) 「自然遺産」12.9% (前1.7%) 「わからない」5% (前3.0%) と回答している。中学生は「文化遺産」65.1% (前88.5%) , 「自然遺産」28.9% (前8.6%) 「わからない」2.2%

(前 3.0%)と回答している。前回に比べ、正解の「文化遺産」と回答した割合が低くなっている。中学生においてはそれが顕著に現れた。

☆ 世界文化遺産登録から5年が経過している。前回の調査当時は、各学校でも世界遺産登録について学習し、多くのメディアも大々的に報道していたが、徐々に取り上げ方は減ってきている。そのため、認知されやすい「自然」部分だけが意識されているのだろう。この間、各学校では富士山学習として総合的な学習の時間等で富士山の文化遺産についても指導してきているが、改めて、世界遺産には、地形や風景、生物の生息地などの「自然遺産」、建造物や遺跡などの「文化遺産」、「自然遺産」と「文化遺産」の両方に登録された「複合遺産」があることや、富士山が自然遺産としてではなく、文化遺産として登録された経緯及びその文化的価値についての理解を醸成する学習指導が必要と考える。

問3 富士河口湖町内には富士山世界遺産の構成資産・構成要素が8件あります。行ったことや通ったこと（登山道）があるものを○でかこんでください。（回答はいくつでも）



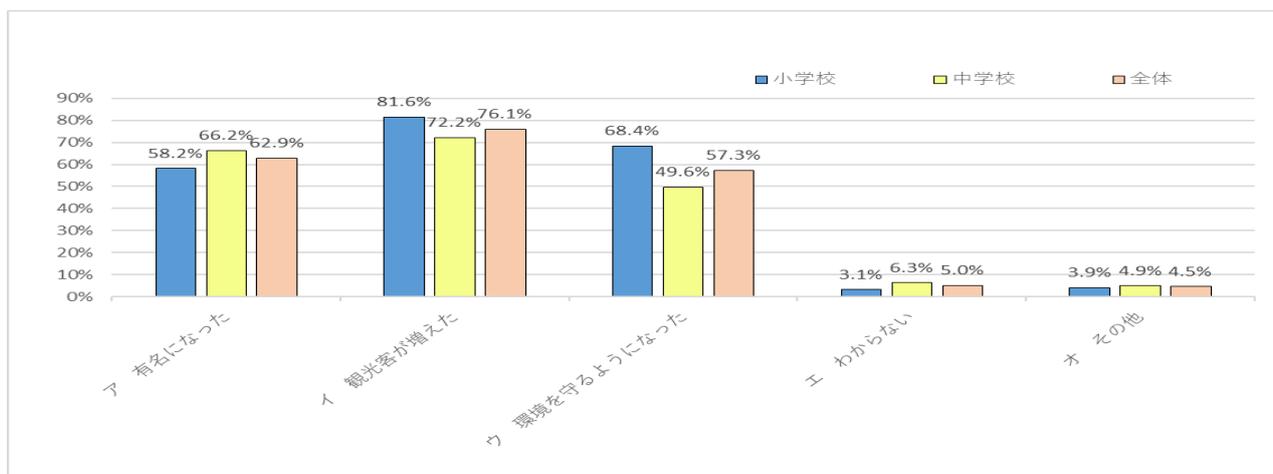
< 調査結果 >

○ 行ったことや通ったことがあるものについては、吉田口登山道は、およそ4分の1で低い値であったが、他の構成資産・要素はおよそ半数もしくはそれ以上である。

全体の数値からは、やや低い値のように思えるが、学校ごとの集計から、各構成資産が学区にある学校では、90%以上であった。また、実施した教員から、「船津胎内は、林間学校で行ったはずなのに、回答していない子がいた。」などのように、行ったことがあるのに覚えがない、町フィールドセンターと船津胎内が結びつかない、ということもあり、実際の数値はもう少し上がると思われる。

☆ 河口湖が高い割合であるのは、児童・生徒にとっていつでも行ける身近な存在であるからであろう。近くなので自分で行けるような場所でない場合は、家族で出かけるか、もしくは、学校で校外学習や総合的な学習の時間などの学習の一環で行くことになる。教育課程作成の際、富士山学習と関連付けた取組を今後も進めていく必要がある。また、世界文化遺産の構成資産・要素にはどんなものがあるかの学習も前述の世界文化遺産であることの学習と合わせていくことが大切である。

問4 富士山が世界遺産に登録されました。登録されたことでどんなよいことがあると思いますか。当てはまるものを○でかこんでください。（回答はいくつでも）



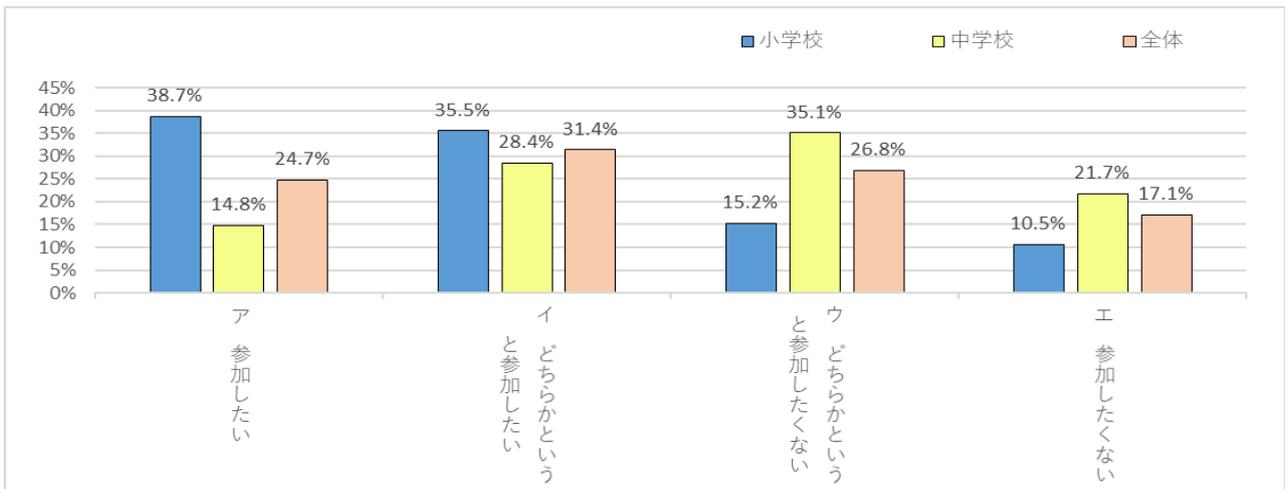
<調査結果> (※ 前…前回平成25年の調査結果)

○ 富士山が世界遺産に登録されたことでどんなよいことがあるかについては、複数回答で小学生は「観光客が増えて、いろいろな国から人が来るようになる」が最も多く76.1%（前75.2%）、以下、「富士山が世界的に有名になり、地域の自慢になる」62.9%（前55.6%）、「富士山の環境をみんなが守ろうとする」が57.3%（前67.9%）の順となっていて、「有名になる」が前回より多くなっている。また、「その他」（4.5%）として、「富士山のことを学習するようになった」「富士山に興味を持つようになった」「富士山を好きになった」など富士山への興味・関心が高まったという回答があった。また、海外からの観光客が増えたことに関わって「交流ができていい」「英語の練習になる」という回答や、「テレビなどで富士山とともに山梨のことも紹介されることが増えた」「地域の自慢になる」という回答もあった。ごみ問題については、多くが富士山からごみが減ったと答えているが、観光客の増加によるごみのポイ捨てなどを危惧する回答もあった。

☆ 世界遺産に登録されたことによる変化を、様々な形で感じ取っていることが伺える。それは、町などの地域の変化であるものが多いが、自分自身の変化としても回答されていて、「富士山」が世界遺産に登録されたことによる効果として感じている。「環境を守ろうとする」「地域の自慢になる」といった精神面の効果と、「観光客が増える」「地域が活性化する」といった経済効果の両方が期待されていると考えている。今回、様々な国の方々が訪れることから、交流を歓迎する声があった。外国語教育が推進されているところであるが、その面からも今後に向けて期待が広がる。外国語教育や総合的な学習の時間の学習の活用として考えられるのではないか。

富士山が世界遺産登録され、環境保全も強く推進されている。富士山は、日本の象徴であり、この美しい山を後世に継承することが21世紀を生きる私たちの務めである。富士山とのかかわり、富士河口湖町に住む人々とのかかわりを通して、郷土に誇りをもち、郷土を愛する子どもたちを育てていきたいと考える。

問5 富士河口湖町では、小学校6年生と中学生を対象とした、1泊2日で富士山頂まで行く富士登山活動をしています。この活動をどう思いますか。1つだけ選んで○でかこんでください。



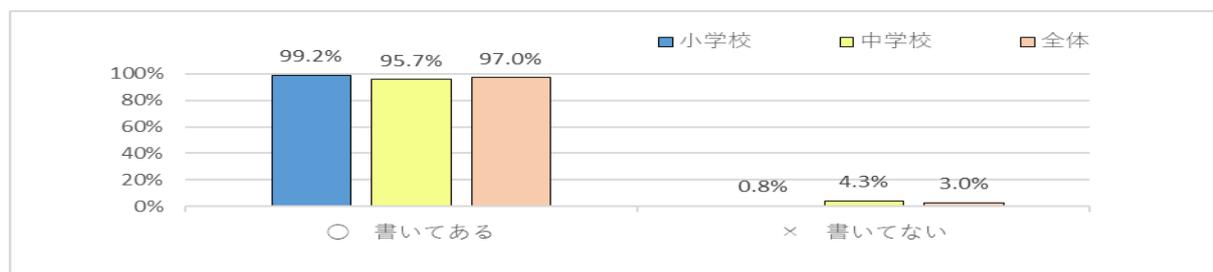
<調査結果>

○ 富士登山活動に参加したい気持ち（「参加したい」「どちらかというと参加したい」を合わせて）を持っている小学生は70%を超えるが、中学生では40%を超える程度で、差が大きかった。

☆ 多くの人が「富士山に登ってみたい」と思っているが、富士登山は高山病などの困難さがあるので、登山になかなか踏み切れないと言う。中学生の「参加したい」割合が、小学生より低くなっているのも、富士登山の困難さもわかってきているためではないだろうか。さらには、部活動や生活の忙しさも影響していると考えられる。

富士河口湖町では、「富士登山を中学三年生までに経験させることで、郷土愛を育み、心身ともに健康な子どもの育成を図る」という目的で富士登山事業を実施し、今年で7回目となり、小中学生24名が参加した。参加者からは、「登ってみるととても大変でした。でも、歩いているときの景色がとてもきれいでした。」「高山病になってとてもつらかったけど友達が励ましてくれてうれしかったです。」「初めて富士山に登って達成感がありました。毎日下から見ていた日本一の富士山は登ってみて改めてすごいと思いました。」など、たいへんながらも参加してよかったという感想が寄せられた。また、この事業に参加したが途中下山であったため、再度挑戦し、富士山頂に到達した児童が、山頂に到達した達成感や頂上での眺めのすばらしさを伝えてきている。このように、富士登山は大変であるものの魅力があるので、来年以降もより多くの児童・生徒が富士登山事業に参加すること、さらには、この事業をきっかけとして一人でも多くの児童生徒が富士登山に関心を持ち、登山に挑戦することを願う。

問6 河口湖を訪れた人に富士山の自慢をしたいと思います。どんなことを自慢しますか。



<調査結果>

○ ほとんどの児童・生徒が自慢を書いている。自由意見を分類してまとめた。

① 景観，自然に関することについて

- ・ 日本一高い山でとてもきれいで，形も整っていること。
- ・ 湖と一緒に見える富士の眺めの美しいこと。
- ・ いろいろな姿があり，どれもきれいなこと。
- ・ 時間や季節ごとに，景色が変わり，富士山の変化が素晴らしいこと。
- ・ 富士山の雪の形がいろいろあってすごいこと。
- ・ 富士山と河口湖とラベンダーが美しいこと。

② 世界遺産に関することについて

- ・ 富士山が世界遺産になったこと。
- ・ 富士山を世界遺産にするため，静岡県民と山梨県民が協力して取り組みをしたこと。
- ・ 私たちが住んでいる山梨に，世界遺産の富士山があること。

③ 富士山の歴史に関することについて

- ・ たくさんの歴史がある素晴らしい山であること。
- ・ 富士山はいくつかの山が重なってできていること。

④ 富士山の動植物に関することについて

- ・ たくさんの生き物や動植物がいること。

⑤ 信仰，文化に関することについて

- ・ 富士山は昔から神の山とあがめられている。また，御師の家があること。
- ・ 古くから歴史的な山で様々な人が富士山を守ろうとしていること。
- ・ 歴史や文化がある。稚児の舞があること。
- ・ 富士山には神様がいる。
- ・ 富士山はたくさんの昔の絵にかかっている。
- ・ 芸術の源泉である。

⑥ 噴火に関することについて

- ・ 噴火でできた富士五湖があること。
- ・ 富士山は何年も噴火を続け，今の自然豊かな山になったこと。
- ・ 富士山は独立山で，独立山の中では世界で5位の高さで珍しい山であること。
- ・ 4回の噴火でこの大きな富士山になったということ。

⑦ その他

- ・ 地域の人たちが力を合わせて富士山をきれいにしていること。自然を守ろうとしている人がいること。ゴミが少なくなっていること。
- ・ 観光スポットが多く，いいお店がたくさんある。富士山に関するいろいろな物を売っていること。

- ・涼しくて気持ちがいいこと
- ・水や空気がおいしいこと。

なお、記述の多くは、景観、自然に関することが占めていた。

☆ 富士山の自慢の多くは、景観、自然に関することであった。これは日頃より、富士山の景観のすばらしさや自然の豊かさを実感しているからであり、また、富士山が世界文化遺産となつてはいるが、その原点は、その見事な景観であるからであろう。

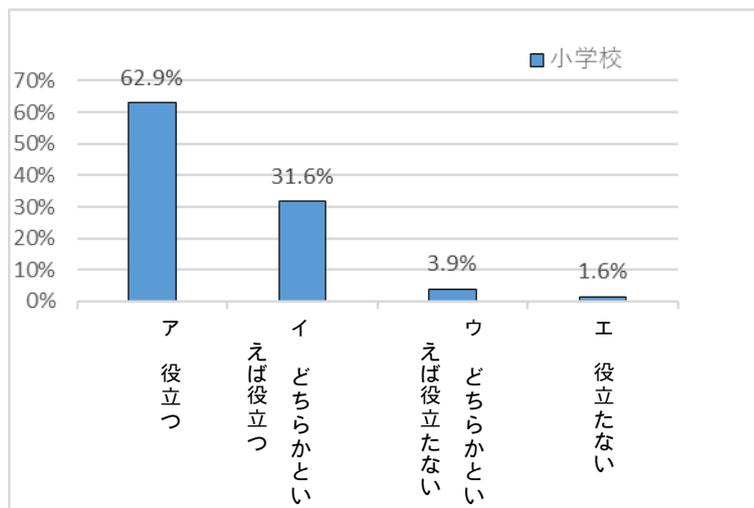
記述したもの全てを掲載できなかったが、景観について、「いろいろな姿がある」ということを書いたものがあつたが、前回にはなかつた回答である。どこから見ても美しいが、見る角度（地域）によって富士山の姿は違うことを「富士山学習」で学んでいるからであろう。さらに、世界文化遺産に関することや信仰、文化に関することに対する記述が増えている。これも富士山学習の成果と言える。

世界遺産に登録されたことにより、富士山に一層関心を持つようになり、「世界遺産を持つ」という誇りを持つようになった。それが、今回のアンケートでほぼ100%の児童生徒が自慢を記述したことに現れている。

これからの地域の未来を担う子どもたちが人類共通の宝となつた富士山を語るとき、富士山の自慢話ができることで愛着も深まると考えている。「富士山学習」を通して富士山の自然や歴史を知り、富士山に誇りを持ち、故郷の自慢話ができる子どもたちを育てていく必要がある。

問7 小学校高学年で今年から週2時間の外国語科の授業が始まりました。この授業は、外国の方に富士山を自慢するとき役立つと思いますか。1つだけ選んで○をかこんでください。
(小学生)

<調査結果>



○「役立つ」「どちらかという役立つ」を合わせると、94.5%である。

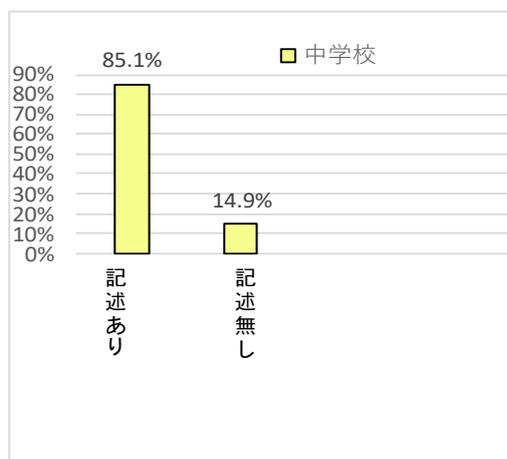
☆ ほとんどの児童が、「役立つ」と考えている。その理由の1つとして、外国人を目にすることが増えていることが考えられる。2つ目として、本町では1年生から外国語(英語)に慣れ親しむ活動を実施し、ALTによる指導も受けている。さらに、今年度から外国語科が先行実施

されたことに伴い、専科の英語教員も配置され、充実した外国語(英語)科教育が実施されている。

これらのことから、外国人に接することや英語を話すことに抵抗が小さくなってきていて、役立つと思ったのではないかと。現に、ある学校では、総合的な学習の時間で外国人に質問したり、見どころを教えたりする活動を取り入れている。

問7 外国の方に本町や富士山を紹介したり自慢したりしたいと思います。あなたは、どんなことができますか。（中学生）

<調査結果>



- 紹介や自慢する方法について、記述してあるのは、85%であった。記述内容をまとめた、
- ① 歴史や文化、自然、絶景ポイントをアピールする。
- ・観光スポットを教える。
 - ・インターネットで外国人に向けてプレゼンする。
 - ・資料や写真を見せる。
 - ・ポスターやパンフレットの作成。
 - ・富士山学習で学んだことを生かして世界遺産のことや魅力を伝える。
 - ・富士山の良さを伝える。
 - ・富士山にまつわる有名な昔話や伝説を話す。

- ② 外国人に伝えられるようにする。
- ・外国語で説明できるようにする。
 - ・外国人の方とのふれあいの的なもので教える。
 - ・話しかけたり、道案内したりする。
 - ・絵やジェスチャーで伝える。
 - ・英語の看板などを作る。
 - ・外国から来た人たちと交流する。
 - ・親切で、丁寧な対応をする。
- ③ 良さを伝えられるようにする。
- ・富士山学習などで学ぶ。
 - ・富士山の世界文化遺産について、知る。
- ④ 環境を守る。
- ・残りの自然を守るため空き缶・ごみなどを拾う。
 - ・環境を守るように呼びかける。
- ⑤ 働きかける。願う。
- ・役場などにパンフレットを作成してもらうように頼む。
 - ・英語が話せる人に、願う。
 - ・ギャラリーなどを作り地元の人の富士山の写真などを集める。
- ⑥ その他
- ・ボランティアに参加する。

☆ 外国の方に本町や富士山を紹介したり自慢したりするのに、どんなことができるかについては、景観、世界遺産に関するスポットを案内する、話すという内容が多かった。中には、ほうとうや土産物などの観光に関するものもあった。紹介の発信方法は、直接案内するものほかに、インターネットで発信する、パンフレットを作成するなどがあつた。

外国の方への紹介や自慢のためには、英語（外国語）必要であると考えており、そのことに関するものも多かつた。また、「ふれあいの的なもので教える」「親切で、丁寧な対応をする」など、もてなしの気持ちで接することを書いたものがあつた。

さらに、紹介・自慢のための材料を富士山学習などで学ぼうとする意見もあつた。

直接的ではないが、富士山等の環境保全に努めると答えた生徒も多かった。自慢できる富士山にしていこうという気持ちが伝わってくる。

—信仰の対象と芸術の源泉—としての富士山の文化的価値が世界に認められ、世界文化遺産に登録され5年目となりました。私たちは、素晴らしい資産を保護し、確実に後世へ継承していく責務を果たすために何をすべきか、その第一歩は富士山の価値について子どもたちと一緒に学ぶことと信じています。

教育センターでは、町内の子どもたちが構成資産を通して富士山の価値を知り、富士河口湖町の歴史・文化を学ぶことにより、郷土に愛着と誇りを持ち、文化や自然を大切にする気持ちを育んでいくことを願っています。

本年度も、『富士山学習研究会』を中心に歴史・文化・自然・芸術・観光等を体系的に学ぶ「富士山学習」に取り組んでいます。世界文化遺産登録された平成25年以来の「富士山に関するアンケート」を、町内の児童・生徒を対象に実施しました。この調査結果が、子どもたちや先生方の「富士山学習」充実に向けての動機づけ資料となることを期待しています。

本調査に当たり、ご協力をいただいた各学校や児童・生徒の皆さん、また集約してくださった先生方に深く感謝申し上げます。

富士河口湖町立教育センター研究員（「アンケート調査」協力）

古屋 修宏（船津小）	深沢 隆仁（小立小）	中村 勝子（大石小）
長田 彩（河口小）	渡邊 達治（勝山小）	藤巻 桂吾（西浜小）
日下 美実（大嵐小）	渡邊 彩華（豊茂小）	青木 悦子（湖北中）
村松 孟（勝山中）	小池としみ（湖南中）	芦沢 哲治（鳴沢小）

富士河口湖町立教育センター
担 当 小 河 原 徳 博
T E L 0 5 5 5 - 8 3 - 3 0 2 2
F A X 0 5 5 5 - 8 3 - 3 0 2 4
E - mail ed-center@kawaguchiko.ne.jp